

視点の先の未来を見つめて

n a view

2013
WINTER
Vol.453

[ナビュー] Nichiha across the view

平成25年12月24日発行

NICHIHA SIDING AWARD

第30回

2013



30回目を迎えたNICHHA SIDING AWARD 2013。

昨年に引き続き、グランプリ・プラチナ賞・ゴールド賞に住宅部門と非住宅部門を設け実施。

応募総数は341件となりました。

インテリアデザイナーの杉本貴志氏、建築家の難波和彦氏による審査の結果、18作品が選出されました。



難波 和彦

KAZUHIKO NAMBA

建築家・東京大学名誉教授。放送大学客員教授。
1947年 大阪生まれ。'77年 一級建築士事務所(株)界工作舎を設立。代表作に「箱の家」シリーズがあり、標準化・多様化、サステナビリティをコンセプトに掲げた都市型住宅のプロトタイプとしてデザイン・開発を手がける。グッドインテリアデザイン賞、新建築吉岡賞、住宅建築賞、JIA環境建築賞など多数受賞。現在、放送大学にて「新しい住宅の世界」を放映中。



[審査委員長]

杉本 貴志

TAKASHI SUGIMOTO

インテリアデザイナー。
1945年、東京都生まれ。'68年東京藝術大学美術学部卒業後、'73年、(株)スーパーポテトを設立。商業空間のデザインを数多く手掛け、バー、レストラン、ホテルの内装デザインから、複合施設の総合プロデュースまで幅広い分野で活躍。
'84年、'85年毎日デザイン賞連続受賞。2008年米紙Interior Design Magazineより「Hall of Fame Awards」を受賞。

総 評

このコンペティションの審査には昨年参加し始めたが、今年の実績作品全体を見渡すと、昨年とあまり変わらず、依然としてサイディングの特性をあまり考慮せずに、単なる外装材として無造作に使っている作品が多く見られた。

多様に用意されているサイディングの選択も、性能やデザインによってではなく、単なるコストによって決められているように見える。したがって総体的には、サイディングの選択基準が、まだ十分に理解されていないように感じられる。

しかしその一方で、上位に入賞した作品のレベルは、昨年に比べると、明らかに向上している。たとえば、住宅部門のグランプリを獲得した「VILLA COOZY」では、RC造のスケルトンの外装材にサイディングが採用されているが、耐火性、軽量化、断熱性、デザインの自由度といったさまざまな条件を統合する、きわめて確かな使い方において傑出している。サイディングという外装材が、建築全体のデザイン・コンセプトの中に明確に位置づけられ、まさに「適材適所」な使い方といえるだろう。

要するに、サイディングの選択基準は、単なるアピランス(外見)だけではないということである。しかしながら、応募作品のほとんどが、その段階に止まっているように思える。建築を成り立たせている条件を総合的にとらえ、その中にサイディングを位置づけるような使い方を追求しないと、この壁は突破できないだろう。

その意味で、メーカー側としても、使用者に対して「サイディング・リテラシー」の向上を図る必要があるように思う。

今回の受賞作品には、ある意味で気持ちの良い安定感が感じられる。それは練磨を重ねたというよりも、勿論そういう事もあるのだけれども、何か余裕というのか、気持ちがのびのびとしている様に見えるのである。そこが、大事なのである。

練磨するという事は、今までの技を前提に、積み上げられてきたものとしての価値観や美しさを大前提にしながらも、それらと格闘しながら前進する事と言える。

しかし今回の受賞作品(無論、全部ではないにしても)は、ある意味では確かに、そして軽くその事を避けている様にも見られる。理由の一つは、そういう時代観を我々は感じていて、そういう気持ちが心地良いからだろう。もう一つは、サイディングという工法と考え方が、少しだけ我々の内側に入ってきたからとも考えられる。発想に無理がないばかりではなく、工法や素材感と発想、そしてそういうものを通しての生活が一体に見えるのである。多分、これからこういう建築が増えるだろう、と想像しながら、その事が気持ちよく感じられるのである。

かつて、ファッションデザインと建築デザインに関して、その意味の重なりについて語られる事が盛んな時期があった。その中には聞くべき事も多々あったのだけれども、デザイン過多の住宅や建物が多くなったのも事実であり、デザインとはという根本について疑問をもちたらしめたのも事実ではなかったか。

今回の応募作品が、建築としてのエッジ——つまり先端を示す事を目標にしているのではなく、我々の日常生活の中での有り様が気持ちよく示されているのである。これこそ、サイディングという素材工法の真正面に存在するものであろう。

Contents

04 NICHHA SIDING AWARD 2013

27 Topics and More

28 告知





GRANDPRIX

グランプリ(住宅部門)

VILLA COZY(静岡県) | 無有建築工房 様

第30回

NICHIHA SIDING

AWARD 2013

施工写真コンテストも30回目を迎えます。
応募総数341作品の中から各賞が決まりました。
今号ではその受賞作品を一挙にご紹介します。



無有建築工房
武長 晃弘 様



無有建築工房 建築家
竹原 義二 様

【竹原義二氏プロフィール】
1948年徳島県生まれ。建築家石井修氏に師事した後、1978年無有建築工房設立。2000~13年大阪市立大学大学院生活科学研究科教授。30余年の設計活動の中で、住宅を中心に150を超える作品を手掛け、日本建築学会賞教育賞など多数受賞。近年は幼稚園・保育所、障がい者福祉施設、老人福祉施設など、住まいの設計を原点に人が生き生きと暮らす空間づくりを追求している。著書に「無有」(学芸出版社)、「竹原義二の住宅建築」(TOTO出版)、「いきている長屋」(編著:大阪公立大学共同出版会)

性能・デザイン・コスト。
素材としての能力がフル活用された、
サイディングがいきる道標。

使用
商品

>>>キャストイングウッド/ダークブラウンMG/EFA242
>>>マイスターウッド調/ナチュラルMGブラウン/EF936
>>>マイスターウッド調/STEINMGベージュ/EF934

審査員評
RCの壁構造をスケルトンとし、外壁に1時間耐火仕様の工法を採用した集合住宅である。軽量鉄骨の間柱によって開口の位置を自由に設定し、外断熱と通気層を確保した高性能な外壁としている。各階のスタブを小庇として突き出し、外壁面の耐候性を確保しながら、水平線を強調し、さらに各階毎に色彩の異なるサイディングを使い分けることで、ファサードの表情に変化を与えている。サイディングの使用法の見本となるような優れたデザインである。

第30回目のNICHHA SIDING AWARD 2013 グランプリ住宅部門に輝いたのは、無有建築工房様の「VILLA COZY」。戸建住宅ではなく、5階建ての共同住宅である。サイディングの使用用途の広がりが、グランプリ受賞へ寄与したといえる。

影響を与えた過去の作品

「まさか、竹原義二はサイディングを絶対に使わないはずだ」と難波和彦氏の目から鱗が落ちた作品が、過去にプラチナ賞を受賞した大阪のN様邸。米杉材の押縁を取付け、下見板のスギ板張りを醸し出す外観を形成するのは、まさかの、サイディングだ。

「工業製品をこんなふうに使ってなんてわかんなかった。まさか、と思った人間が使うなんてどういふことか」という文章を難波さんは本に書くんですよ」と竹原義二氏は語る。「建物に外観はいらぬ」として、地形の形状を最大限生かし、緑と共生した建築を多く手がけた石井修氏に師事。「ニセモノは絶対に使えぬ」というのが、師匠からの教えだったという。

これまで、性能とコストバランスを考慮すると、サイディングは問題なく良い材料と思われ



※2 大阪のN様邸

がらも、既製のサイディングを「絶対に使わない材料」と評してきた難波氏が、サイディングを採用する転機となった作品でもある。

無有建築工房の竹原義二氏による過去の受賞作品は、前述の大阪の個人住宅に加え、NICHHA SIDING AWARD 2011のリフォーム賞、大阪の豊崎長屋がある。

竹原研究室のある大阪市立大学 生活科学研究科が、90年前に建てられた長屋群を2007年から「長屋本来の魅力の再生」住まいとしての改修「耐震補強」の3つを柱に、家主・大学・学生・地域住人が共に協力しながら継続して行っている改修プロジェクト。

「再開発では実現できない、繊細な下町の雰囲気を残しながら、現代の生活、耐震性、防災の確保に取り組んだ意欲的なリノベーション」として高く評価され、2011年グッドデザ



BEFORE



※3 大阪の豊崎長屋 / AFTER

イン賞のサステナブルデザイン賞を受賞している。

受け継ぎ、大切にしよう

『VILLA COZY』は、新築の単身向け賃貸マンション。オーナー様の住まいに隣接する敷地の建て替え計画である。施工を請け負ったのは株式会社プロモートエンシユウ様。静岡県浜松市を拠点に、他にはないおしゃれなデザインや空間にこだわった、リノベーション物件、デザインナーズ物件を幅広く展開されている。

無有建築工房様とプロモートエンシユウ様との出会いは、2007年まで遡るといえる。「僕がリノベーションをたくさんやっているのを色々調べて、その理由はなぜか、話をしてくれないかと代表者自ら事務所を訪ねてきたんです」と竹原氏。会社スタッフ全員による豊崎長屋の視察を経て、プロモートエンシユウ様の仕事がスタートした。

プロモートエンシユウ様のクライアントであるオーナー様は、かつての住まいであり靴屋のご商売を営んでいた建物を潰し、賃貸住宅を建てたいと希望。当初は、どこに依頼するか迷われていた。

しかし、竹原氏とプロモートエンシユウ様の働きかけによりオーナー様の気持ちに変化が。「建てた家を単なる金儲けをするための建物と眺めるのか。いい家やな。あれが生活を支えてくれるんやな」と思いながら家に帰るのかという会話を重ねるうちに、お金の試算表ばかり持つてる会社とはなんかやっていると違う。「愛着のある家をつくらないといけないですね」という話になっていった」と竹原氏。何のためにマンションをつくるのか、先祖代々受け継がれてきた土地を大切にしたい、もう迷いはなくなっていた。

計画から5年、2013年3月に竣工した『VILLA COZY』は、1階が駐車場、2〜5階の各階に5戸計20戸が設けられている。エン

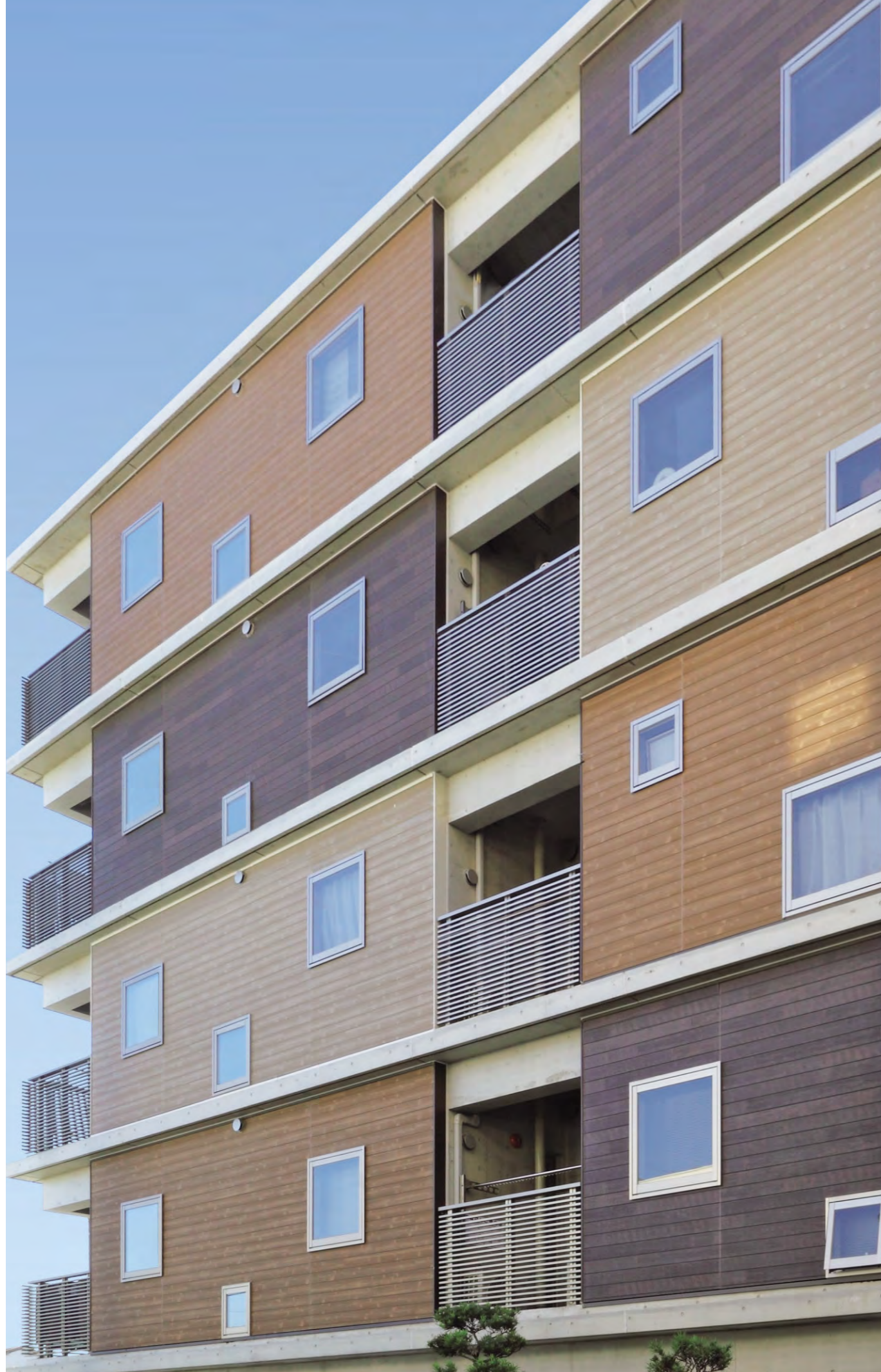
きた風情ある既存の庭木が住人を出迎える。1階をピロティ形式の駐車場とし、2階以上は道路に跳出しとするために、より軽量な外壁素材が求められた。

軽量で、耐久性、耐候性に優れ、何より、外断熱仕様の1時間耐火構造に使用できる外壁材ということで、窯業系サイディングを選択。モエンエクセラード16 キヤステディングウッドダークブラウンMG、マイスターウッド調ナチヨルMGブラウン、マイスターウッド調ステインMG ベージュの3色を、市松模様張り分けしている。



中庭に残した既存の庭木

※1 ニチハのサイディングの使用可能な高さは原則13m以下であるが、規模の大きな物件については、高さ13mから20mまで、落下防止のための専用の通気ロング金具やビス補強を使用して対応できる工法がある。





木がいきる、木といきる そこにオフセットサイディング。

使用商品

>>>フラットウォール/無塗装品(シーラー品)/EDX240E/EDX240



株式会社太宏設計事務所
設計部長
加藤 三博 様

審査員評
外壁に日本的な白壁のデザインモチーフとしてサイディングを全面的に採用した公共建築である。比較的スケールの大きな周辺環境に合わせて、市庁舎と保健センターが複合した建物全体に、緩やかなヴォールトを架け、シンプルなシルエットにまとめている。外壁にはフラットで白色系のサイディングを張り巡らし、その壁を背景として、木製の縦ルーバーと腰壁をデザインのポイントとして配した単純明解なデザインである。

※ヴォールト…アーチを母線とする曲面構造



「完成したら僕も行かなくなっちゃうので、オーナーさんは、完成しない方がいいなあと言ってくれるんですよ。行くと、家の話なんて一切しない。むしろ僕が今、取り組んでいることや考えとか、そういう話を楽しみにしてくれるんです。親戚が一人できたような感じがすよね」と竹原様。(左から、武長様、竹原様、ニチハ市場開発部 稲田、同 中居)

「道路側二面ということで足場が建つところにサイディングを使っているんですよ。足場が立ちにくいところはタイル張り。デザインだけでなく、メンテナンスに対しても、オーナーさんの意識も高かったんです」と武長 晃弘様。各階にコンクリートの小庇を設け、陰影による表情をもたせながら、壁面を風雨から守るデザイン、トップコートの上塗りを10年単位で計画するなど、美しく保つための継続的なメンテ

ランスを考えた設計が施されている。武長氏はこの建て替え計画の担当者。『VILLA COZY』のCOZY(コージー)は心地いいという意味だが、庇屋を営まれていたオーナー様の愛着を込めてつけたネーミングだという。

「共用廊下を進み、玄関ドアを開けると外という部屋もあります。インナーテラスを設けていて、折れ戸タイプの窓を開け放つと、外部と内部の境がなくなり、暮らしの楽しみ方も広がります」と武長様。その部屋は、土間とLDKの境に上がり框はなく、同じタイル仕上げ。寝室は「室」と図面に書かれている。どこで靴を脱ぐか、どこで寝るかは、住人の自由を尊重した空間が作られている。無有建築工房様がつくり出す空間には、新しい暮らし方をつくり出すしなかに溢れている。

サイディングへの期待

「きれいとも美しいとは全然違います」と竹原氏。「美しいものをつくらないかんのです、とクライアントにもお話ししています。材料自体が経年変化をして美しくなっているからってことなんやけど。サイディングを使うというのは、その覚悟をせないかんやで。覚悟というのは10年後、自分が設計した建物を見に行けるか、ということやで」と。木や石、煉瓦といった自然素材が朽ちていく様は、年数を経ることにほとんど味わいが出て良くなる。塗り替えたり、取り替えたりして見た目だけきれいにするのは、美しいとはいえないのだ。リノベーションに対しては、僕は新品にするのではなく、時間を受けないですよ。新品にするのではなく、時間を受け継いでいくことですよ」と竹原氏は語る。

年月を経て、リフォームで新品同様にすることはできても、竹原氏のいう年月を経た美しさは表現できないサイディング。

ではなぜそのサイディングを竹原氏は使われたかを問うと、「サイディングは二セモノ。二セモノは二セモノとして使う。でも見に来てもわからないくらい、本物のように使わなきゃいかんぞと僕は言うてます。舞台がそうなんです。舞台や映画は、全部セットなのに、それを見ている間は、誰もがそれを本物の世界かのように見ている。サイディングを建物に使う場合、二セモノやけど、ものすごく二セモノとわからないように最後まで作つたでと。あまりいい方はよくないけれど(笑)」。

サイディングを素材として、どのように使うべきかを考え抜き、新たな領域へと押し上げていく。「竹原氏が使うなら大丈夫」と周囲が注視するほどに、素材を吟味されるからこそ、その素材は輝くのだろう。

竹原氏が示唆していることは、サイディングの可能性ともいえる。使う場所や角に映える色、職人さんに配慮した製品設計や施工方法、開口部を魅力的に見せる部材など、使う側の苦慮を汲み取り、発想を転換させるだけでサ



折れ戸を開放すると、タイル貼の外室とLDKが内外一体となる。「真っ白で均質な家をつくればすごく簡単だけれど、無味乾燥になってしまう。どんな人が住むのか、使われ方を考えながら素材や色を選んでいきます」と竹原様。

撮影:絹巻豊



3.5階平面図

サイディングが深化するのだと。建築家竹原義二氏が、サイディングにかけた思い。それは「日本の街並みをなんとかせないうかん」ということ。使う側とつくる側の思いが結実した時、街並みに新たな変化が生まれるのかもわからない。



上天草の海を泳ぐイルカ

雲仙天草国立公園に指定された大少数十の島と静穏な海。熊本県の南西に位置する合津(あいづ)港を望むようにそれはある。ゆるやかな弧を描く銀色の屋根、やさしいクリーム色の壁に豊かな木のルーバーが、さまざまな目的と機能を内包しつつバランス良くすっきりと佇んでいる。今回のNICHHA SIDING AWARD 2013 非住宅部門でグランプリを受賞した「上天草市役所松島庁舎」だ。

設計を手がけたのは、株式会社太宏設計事務所様。今回ご応募くださった加藤三博設計部長にお話を聞いた。「この上天草市は、もともとあった大矢野町、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町が2004年に合併しました。市政10

周年を迎える節目に、町と人の融和のシンボルとなる松島庁舎の建設が決まり、プロポーザルを経て私も設計を担当することになりました。根底には『融和と友愛』を指す上天草市の和のシンボルとしたいという思いがありましたし、『人と海のふれあうまち』という上天草市のスローガンにふさわしいものにもしたかった。そこで、庁舎と保健センターを市民テラスでつなぎ、建物全体はイルカが海で泳いでいるような躍動感あふれる姿にしました。

市の大きな期待

木をふんだんに使った居心地の良さそうな内装に、見るからに伸びやかな外観。だが、この庁舎には多くの機能と性能が要求された。まず安全で

あること。震度7まで耐えられる構造とし、大きな津波(これまでの最高潮位が4.6m)にも耐えられるよう、庁舎1階の床高さを海抜6.0mで設計しました。次に、災害発生時には防災拠点にできるよう、発電機や水槽は建物の三階に設置しました。ライフラインが断たれても連続三日間は使用可能です。平常時は市民も職員も居心地が良く利用しやすいよう、機能や設備を充実させました。さらに省エネ対策を施すため、太陽光発電システムの設定計画も他、夏の厳しい日射をやさしく遮り、光や中からの視界は確保できるように窓の外には木のルーバーを取り付けています。百年使い続けることを想定して構造強度と部屋のフレキシビリティも持たせましたが、プロポーザルの途中で林野庁か

木の香りが漂ってきそうな内部。熊本県の基準を満たすため、1㎡あたり0.3㎡の木材を使う必要があった。



らの補助が決定したため、これに木造という条件も加わりました。これに対し、平屋建てや二階建てを提案する会社が多かったのですが、私たちは東日本大震災の記憶もありましたので、木造でぎりぎり建てられる三階建てにこだわりました。三井住商建材株式会社木構造建築部様のご協力です。以前にも木造三階建てを経験していたので、私たちが自信を持って三階建てをご提案でき、それが採用につながったようです。

この庁舎の延べ床面積は3,400㎡。通常3,000㎡を超える場合は木造の三階建てはできない。「そこで、建物を連棟式にして、二階を渡り廊下でつなぎ、全体で見ると二つの建物に見えるよう、屋根の曲線をつなぎました。こうすることで強い海風をうまく受け流すこともできますし、なだらかな曲線がイルカのようなものです。」だいたいの構想はあったものの、あらゆる条件を満たすために、皆で知恵を絞り、何度も筆を入れた。

木の力、人の力

しかも困難はそれだけではなかった。「設計も工期も短くて」。

通常なら設計で約1年、工期で1年。合計2年かかるものが補助金や特別値の活用期限の関係で、お尻が決まっていたから2月に設計を始めて8月に着工。翌3月には竣工という、普通では考えられない納期だった。「これほど大規模で、木造で条件が多くて時間がなくて、もう必死でしたね。設計の時間が限られているだけでなく、ふんだんに用いられている木材を必要量、納期に間に合わせるのも至難の技だったという」。

「普通なら不可能です。鉄筋コンクリートや鉄骨に比べて、木は製材や乾



イルカをイメージしたなだらかな曲線。「イルカは上天草に生息しているんですよ。車海老も特産ですが車海老の形ではなくて(笑)」と加藤様。

燥の必要があつて調達に非常に時間がかかりました。でも市長さんはじめ、地元森林組合の皆様の協力を得て、前倒しで調達していただきました。歯車が一つでも遅えれば全て狂ってしまうような状況のなかで、本当に皆さんの親身な協力があったから実現したプロジェクトだったと思つています。もともと社員一丸となつてお客様の要望に全力でお応えするのが当社のポリシーでもあります。今振り返ると、常に危機感があつて、夜中に目が覚めることもよくありました。

この庁舎を建築する過程こそが町と人の融和だったとも言える。

町が集まって市になる。それぞれの地域が、人が文化や意識を融合させて思いを結集させた象徴である新庁舎は、無事納期内に完工し、4月末には落成式、内覧会を経て、5月のゴールデンウィーク明けから新庁舎での業務が開始された。くす玉を割つて除幕式を行い、園児による太鼓や歌、地元出身歌手のライブも行いました。大勢の人が来ましたよ。中に入れれば補助金の条件を満たす目的もあつてふんだんに木を使用していますので、日頃木に慣れ親しんだ人たちでも「土足でいいの？」と。木の良い香りがしますし、音の響きも違う。それに地元で育つた木には、その地元になじむ柔らかさや安らぎがあつて、人の気持ちをより穏やかにするのではないのでしょうか。

ニチハへの期待

今年、ニチハは7月に「国産木材を原料に使い、〇〇の固定化に寄与している」として、オフセットサイディング

する。そんな努力を日々していきたいと思つています。同時に、自分一人ではなく、回りの皆さんの力をお借りしながら進めていけるような、その力をいただく努力もしているつもりです。加藤氏の姿勢にも、上天草市が掲げる「和之至」の心が息づいている。

ふと尋ねてみた。もう一回同じことをしてほしいと頼まれたら? 「できるかどうかわかりません(笑)。私たちの努力だけでは絶対無理。市長はじめ、材料を供給してくれる人も、工事をしてくれる人も、新庁舎をつくるのだと

の何品番かが木材利用ポイントの対象商品として認定され、10月には環境意識の高さが評価され、オフセットサイディングが2013年のグッドデザイン賞を受賞した。

「木」が大きなキーワードとなったこの年のNICHHA SIDING AWARD 2013グランプリが、この規模としては日本初の木造庁舎であったことは意義深い。「グランプリ。実はまだピンときていないのです(笑)。受賞のご連絡をいただいたときも『まさか!』という感じでした。私としては杉本先生と難波先生という素晴らしい先生方に目を通していただけただけでも光栄でしたので、オフセットサイディングという取り組みはいいですよ。そういう環境を意識した展開をしている企業だ、とお客様に自信をもつて説明できます。官庁の方々も採用を考へる場合、そういう努力をしている企業からという感じですよ」。

お客様も気づいていないニーズを引き出すために

熱い思いを持った加藤氏だが、その口調は驚くほどやわらかく穏やかで、やさしい言葉を選んで話す。どんな思いでいらつしやるのか。「そうですね。やはりお客様に建物をつくって『ありがとう』と言つていただけたことが私たちの栄養になりますので、お客様が言葉にしない行間の思いのようなものを理解して、『そうそう、それだよ』と言つていただけたらいいなと思つています。お客様がおっしゃった100%ではなく、お話を伺つて自分なりに噛み砕いて、そこにプラスαを乗せるような。そのためには対話を重ねる。信頼関係を築く。そして的確な情報が提供できるよう、常に勉強

という思いを一つにして危機感を持つて力を合わせたからこそできたことですから」。

町と人と企業が融和し、力を合わせたことで完成した上天草市松島庁舎兼保健センター。これから市民のために活躍し、未永く愛されることで、ニチハのグランプリ以上に価値のある上天草市民からのグランプリ(最高賞)を得ることになるだろう。

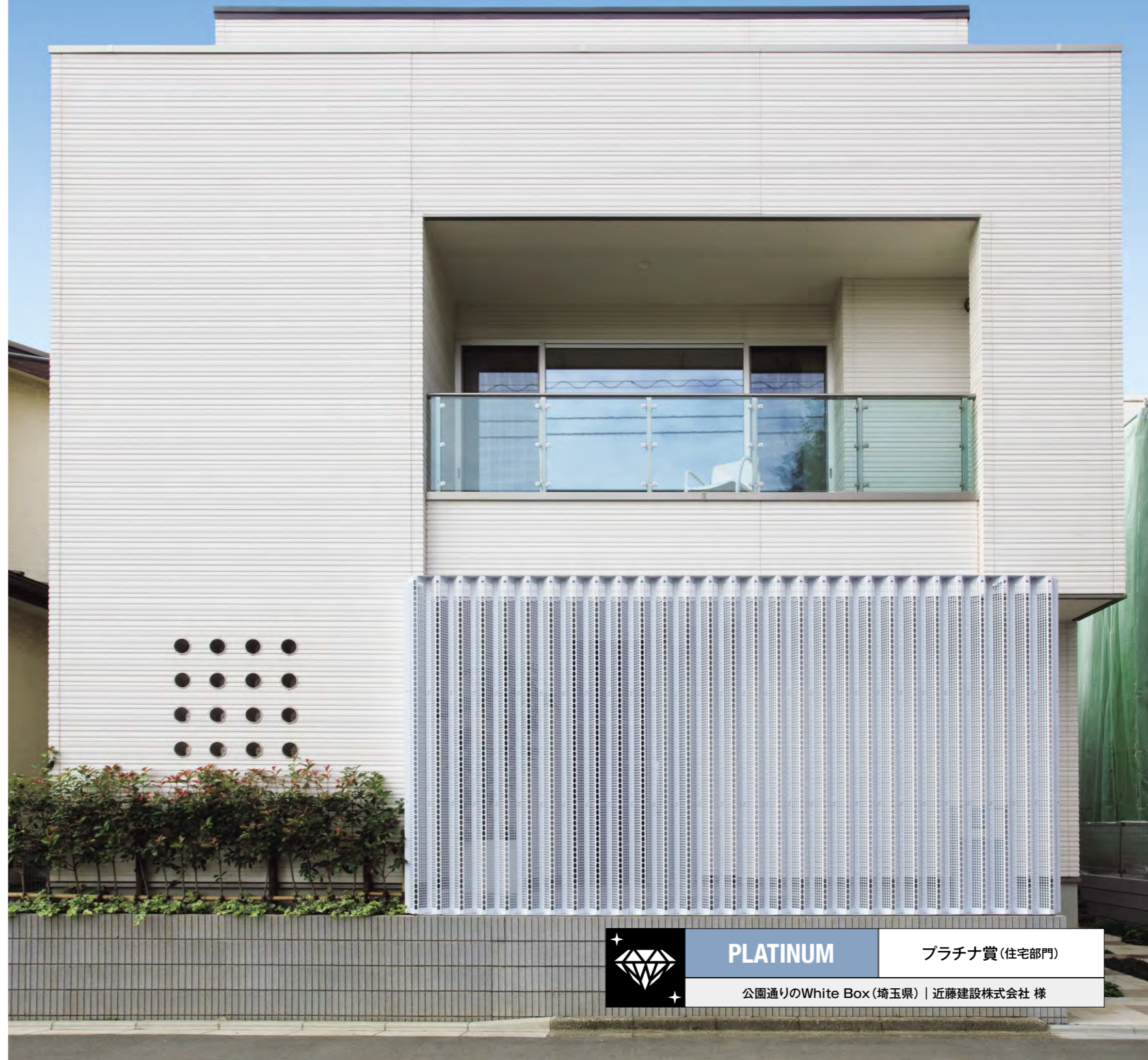
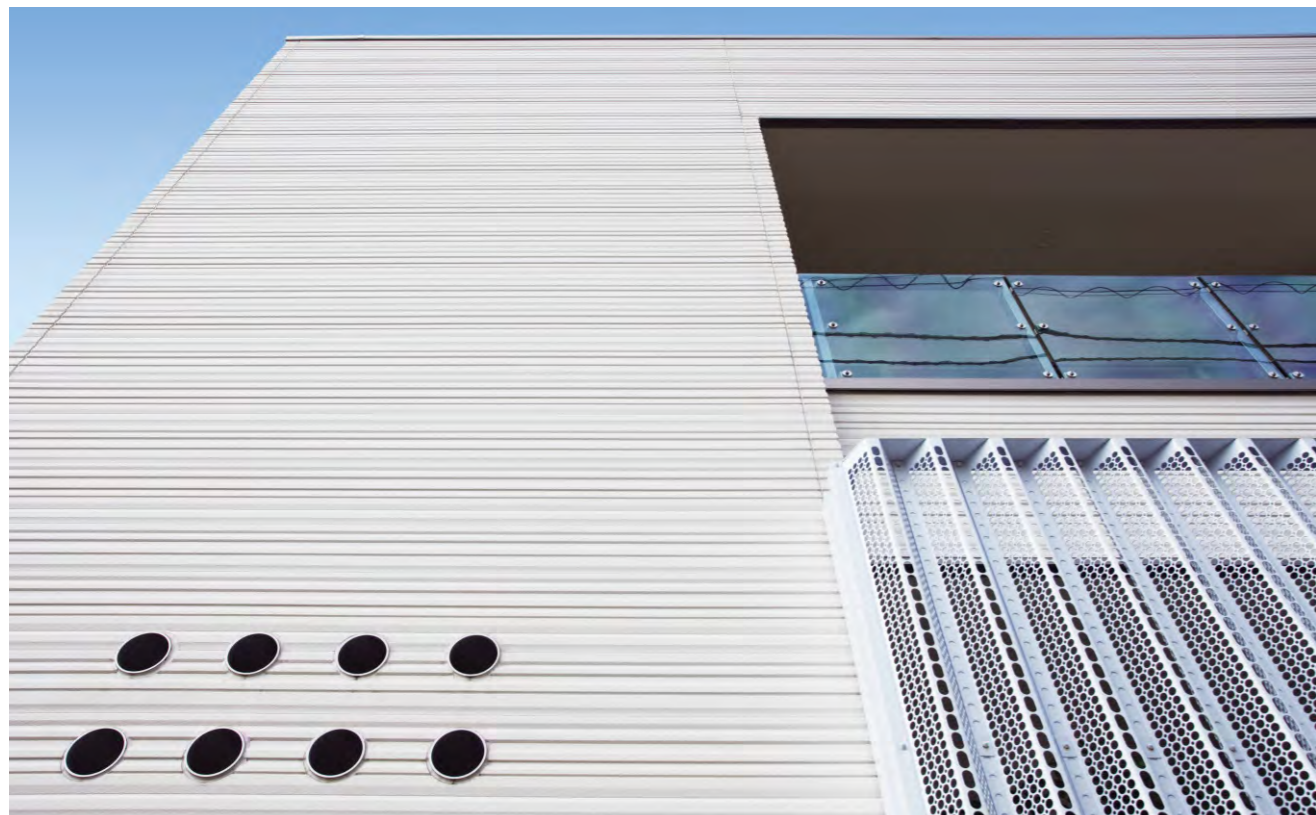
※1.詳しくは「オフセットサイディング」2013年グッドデザイン賞受賞P31をご覧ください。



ご説明くださる加藤部長様(写真中央)。(左はニチハ熊本営業所長の井上、右はニチハ市場開発部 伊藤)



上天草市庁舎について書かれたさまざまな広報誌。期待の高さがうかがえる。



PLATINUM

プラチナ賞(住宅部門)

公園通りのWhite Box(埼玉県) | 近藤建設株式会社 様

隣接する公園の眺望を満喫する「自然テラス」。
シンプルな箱形の家から生まれる暮らしのカタチ。

使用
商品

>>>リキッドシェイプ/シャド-MGホワイト/SF241P

審査員評
単純な箱型の外形を横リブ
サイディングによって包み、縦
の有孔折板と対比させた住宅
である。北側道路とその先に
広がる公園側を主ファサード
面とし、2階リビングに面して
掘り込んだベランダを外形の
ポイントとしている。キレイの
いシルエットと二種類のサイ
ディングによる外装がインパ
クトのあるデザインを生み出
した例である。
※有孔折板・パンチングメタルを山
型に曲げたパネル



PLATINUM

プラチナ賞(非住宅部門)

アイフラワー深谷店(埼玉県) | 松原デザイン一級建築士事務所 様



※標準施工外の納まりとなります。



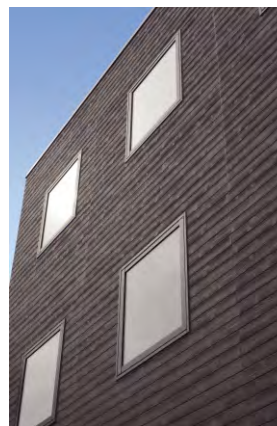
逆円錐の印象的な ファサードを彩る木目意匠。 色彩のコントラストが 優しく迎え入れる生花店。

使用
商品

>>>キャストイングウッド/ホワイトキャメルMG/EFA246N

審査員評

逆円錐形の建物のバラベットの木目のサイディングによって張り回した「商店建築」である。放射状に並ぶスチールパイプの斜の柱列が深い庇を支え、迫り出したバラベットの面と相俟って、小規模ながらもミニメンタルな表情を醸し出している。同時に、逆円錐形の外壁は、雨だれによる汚れの付着を防ぐことにもなるだろう。



審査員評
事務所と住宅を2層に重ね合わせてひとつの箱にまとめ、サイディングで包み込んだ複合建築である。1階を駐車場のピロティとし、木目調のサイディングを横張りし規則的な窓を並べたメインの箱の脇に、玄関を納めたガラスの箱を配置している。対照的な2つの箱を並列したきれいなデザインである。

★	GOLD	ゴールド賞(非住宅部門)
		H建設事務所(兵庫県) STYLE DESIGN 様 株式会社近藤建設 様

木目とガラスが表現する洗練と優しさ。住宅地の周辺環境に調和した事務所兼住宅。



使用商品

>>>マイスターウッド調 / ステインMGチャコール / EF933



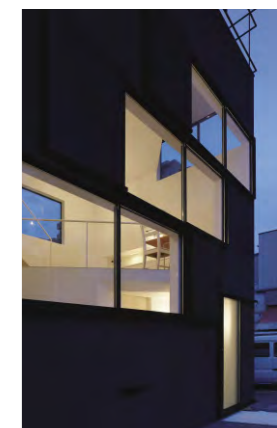
使用商品

>>>モエン大壁工法

★	GOLD	ゴールド賞(住宅部門)
		Spiral Window House(大阪府) 株式会社アルファヴィル 様

正方形の平面に内包された螺旋状の窓と円状の動線。内部と外部との創造的な関係が生む都市の暮らし。

審査員評
正方形平面の外周に三角形の階段吹抜を配置し、パッチワーク状の開口を開けたファサードによって、ダイナミックな空間に変えた住宅である。三角形の階段吹抜けに沿って、斜に配置した窓のあるファサードを、モエン大壁工法によって紺色のシームレスな壁面としている点が興味深い。





PRIZE	入賞
TAKINOGAWA FLAT (東京都)	吉岡環境開発株式会社 様 河部 吉孝 様

審査員評

街並の維持を含む建築協定を前提にして、外観をサイディングによって統一した3棟の建売住宅である。間口が狭く奥行の深い町家形式の平面計画とし、3棟で一体となるように、外観をシンプルな白色サイディング仕上げによって統一している。

使用商品 >>> シンプルライン/レモードMGホワイト/MFX231 (地域限定品です)



PRIZE	入賞
株式会社ユニタス花巻営業所 (岩手県)	株式会社木村設計A・T 様

審査員評

幹線道路に面した敷地条件から、水平線を強調した単純なシルエットとインパクトのある着色サイディングの張り分けによって、分かり易いデザインを演出した事務所建築である。深い庇と側壁によって粹取られた白と紺の壁面が印象的である。

使用商品 >>> ナチュラルラインV/プラムMGチャコールII/EFX3754G



PRIZE	入賞
たけうち耳鼻咽喉科 (愛知県)	空間工房一級建築士事務所 様

審査員評

横長の大きな箱の上に2つの小さな箱を載せ、それぞれを異なる種類のサイディングを張り分けることによって演出した診療所である。大きな箱には白色のサイディングを張って下地背景に見せ、その上の2つの箱には茶色のサイディングを張って浮き立たせている。

使用商品 >>> コシュカ/リベルMGクリアホワイト/EFA191E/EFA191G
キャストイングウッド/ミディアムブラウンMG/EFA241
センチュリー耐火野地板/CPN1800



PRIZE	入賞
さがみ典礼北上大通り長安殿、 興運堂北上大通り店 (岩手県)	大末建設株式会社一級建築士事務所 様

審査員評

並列する新築とリノベーションの2棟を、それぞれの特性を活かした異なる表情と、隣り合わせた建物であることの連続性を、サイディングを使い分けることによって演出した建物である。異なる形を同じサイディングによって結びつけた興味深い例である。

使用商品 >>> 左) 興運堂: ライトオーヤ調/オーヤMGブラウンII/EJ223E
ST型センターストライプUプレミアム/ディーブブラック/1ST1G027
右) 長安殿: ロックライン/ラフラMGホワイト/EF901G
スティックフォルム/テールチャコール/AY8217
ST型センターストライプUプレミアム/ディーブブラック/1ST1G027

さがみ典礼北上大通り長安殿 (新築)

興運堂北上大通り店 (リフォーム)



PRIZE	入賞
S様邸(福岡県) 大和興業株式会社 様	

審査員評
 各種のサイディングを使い分けながら、和風モダンな雰囲気を醸し出した郊外住宅である。重厚な1階基礎、大きな窓を備えた軽快な2階、軒の深い屋根、という古典的な3層構成がサイディングだけによって演出されている点が興味深い。

使用商品 >>>バルムボーダー調/バルムMGブラックII/EJ483E
 ムスターストーン調/ムスターMGシルバーグレイII/EJ622E



PRIZE	入賞
M・Y邸(大阪府) コーディネート・施工:ランドコーポレーション株式会社 様 設計:ナゲナデザイン 様	

審査員評
 サイズの異なる箱を組み合わせ、各々を異なる素材によって仕上げることで、立体的なファサードを演出した住宅である。窓の少ないファサードは、やや閉鎖的な印象を受けるが、陰影の深さは魅力的である。

使用商品 >>>フラットウォール/ウイニーMGホワイト/EFX241
 モエン大壁工法



PRIZE	入賞
K HOUSE(福岡県) 松尾 強 一級建築士事務所 様 株式会社 第一双葉 様	

審査員評
 狭い間口と奥行の深い敷地に対して、1、2階を異なるサイディング仕上げによってファサードを分節した町屋式の戸建住宅である。東西を背の高い建物に挟まれているため、単純明解なファサードデザインによってアイデンティティを主張している。



使用商品 >>>無垢板型枠RCウォール/RCグレー/WD541G
 ヴィンテージウッド/スキムMGブラウン/EF762
 軒天12 木目調/ティンバーペーシェ/YL141



PRIZE	入賞
いちかわ内視鏡内科クリニック(愛媛県) ドイアンドパートナーズ一級建築士事務所 様	

審査員評
 幹線道路沿いの都市的な敷地条件に対し、単純な箱型のシルエットと白色サイディングの外装仕上げによって看板効果を出した診療所である。ロバート・ウェンチユリの「デコレイテッド・シエツ」すなわち「装飾された小屋」を想起させる興味深い試みである。
 ※装飾された小屋…1960年代半ばにアメリカの建築家、ロバート・ウェンチユリが「ラスベガスに学ぶ」において提唱した建築概念。情報社会においては、建築にサインを付加することによって機能を表現することができるという主張

使用商品 >>>フラットウォール/ウイニーMGホワイト/EFX241



AFTER

REFORM

リフォーム賞

〇様邸(茨城県) | サンワ設計株式会社 様



BEFORE

使用商品 >>>木目調ツートーン/レジェココアII/MDX3721P(地域限定品です) マルシェウォール調/セジュールMGクリームII/WFX463G1

審査員評

外装のリフォームに全面的にサイディングを使用した住宅である。1階にベージュ系の漆喰調のサイディング、2階には木目縦張り調のサイディングを用いてメリハリを付けている。道路の面した壁面の窓配置のバランスにやや配慮に欠ける点が惜しまれる。

PRIZE

入賞

S様邸(熊本県) | 株式会社アネシス 様



審査員評

道路に面してサイディング張りの一枚の壁を立てたようなファサードを持つ住宅である。奥行の深さを利用し、前面道路に対して閉じながら、内側の中庭に開いた平面に関しては多少の疑問を感じるが、単純明解なファサードは魅力的である。

使用商品 >>>リーガストーン調V/ランダMGトリュフ/EFX3452 リーガストーン調V/ランダMGパウダー/ EFX3453/ EFX3453N



AFTER

REFORM

リフォーム賞

K様邸(宮崎県) | 株式会社岩切建設 様



BEFORE

使用商品 >>>木目調ツートーン/レジェチャコールII/MDX3722P(地域限定品です)

審査員評

古民家の再生に、サイディングを使用した住宅である。1階の外壁に木目調サイディングを使用することによって防火性を確保し、2階の白壁は漆喰塗り仕上げとしているように見える。大谷石の塀を取り払うことによって住まいを街路に開いたことが評価できる。

PRIZE

入賞

ケアホーム レインボー(熊本県) | 株式会社前原設計事務所 様



審査員評

緩やかな傾斜屋根によって覆われた深い軒下空間が、白い構造体と褐色のサイディングによって陰影をつけられた福祉施設である。斜に迫り出す重厚な構造壁が、対比的に薄い屋根板を支え、濃い色の軒下の外壁が、屋根の浮遊感を強調している。

使用商品 >>>マイスターウッド調/ステインMGチャコール/EF933

受賞一覧

●ニチハ賞

- A様邸(北海道) 株式会社生杉建設 様
- N様邸(青森県) 有限会社丸二建設 様
- O様邸・ハーベストホーム分譲住宅(秋田県) ハーベストホーム株式会社 様
- パルコホーム モデルハウス(岩手県) 株式会社日盛ハウジング 様
- K様邸(新潟県) 株式会社安藤建築事務所 様
- S様邸(富山県) JA氷見市 建築住宅課 様
- S様邸(栃木県) 坂田真二建築設計事務所 様
- レヴェール 始まりの丘(埼玉県) マックホーム株式会社 様
- H様邸(埼玉県) 株式会社永大 様
- 東茂原B4(千葉県) 株式会社ナミカワハウス 様
- リムテラス久我山(東京都) 株式会社ガイアフィールド 様
- My Style KOIWA(東京都) 株式会社セレコーポレーション 様
- マイセン・リアン・自由が丘(東京都) 株式会社コプラス 様
- オランダ坂珈琲邸 町田金井店(東京都) 株式会社ノムラプロダクツ 様
- かつば寿司 モザイクモール港北店(神奈川県) 株式会社ディーエス設計 様
- 御殿場市神山区公民館(静岡県) 株式会社西村建築設計事務所 様
- Soi saam noritake(愛知県) SBIライフリビング株式会社 様
- M様邸(愛知県) 東新住建株式会社 様
- O様邸(岐阜県) 矢橋林業株式会社 様
- T様邸(うるおひの丘)(岐阜県) 矢橋林業株式会社 様
- N様邸(岐阜県) 矢橋林業株式会社 様
- T様邸(岐阜県) 矢橋林業株式会社 様
- O様邸(岐阜県) 有限会社オグラ建設 様
- 山科音羽4本住宅(京都府) 株式会社共和ハウジング 様
- プレミアムアリーナ長尾5号(大阪府) 株式会社サンユー都市開発 様
- プレミアムアリーナ長尾7号(大阪府) 株式会社サンユー都市開発 様
- ルナ三田スマートタウン ゆりのき台43号地モデル(兵庫県) 株式会社創建 様
- T様邸(岡山県) ワウハウス岡山株式会社 様
- H様邸(広島県) 株式会社Balance Design 様
- グランラセーレの森 A棟(広島県) 株式会社鈴木工務店 様
- Lien Hills(福岡県) SBIライフリビング株式会社 様
- ふれあいのこまち出水①号地モデルハウス(熊本県) 株式会社アネシス 様
- K様邸(熊本県) 株式会社アネシス 様
- N様邸(熊本県) 株式会社アネシス 様
- 上代3丁目B号地(熊本県) 株式会社トータルインフォメーション 様
- Y様邸(熊本県) 株式会社アーデルハウス 様
- M様邸(熊本県) 株式会社アーデルハウス 様
- K様邸(宮崎県) 有限会社アイセック 様

※ニチハ賞は、NICHIHA SIDING AWARD 2013 事務局が選定しております。

●グランプリ

- 【住宅部門】VILLA COZY(静岡県) 無有建築工房 様
- 【非住宅部門】上天草市松島庁舎兼保健センター(熊本県) 株式会社太宏設計事務所 様

●プラチナ賞

- 【住宅部門】公園通りのWhite Box(埼玉県) 近藤建設株式会社 様
- 【非住宅部門】アイフラワー深谷店(埼玉県) 松原デザイン一級建築士事務所 様

●ゴールド賞

- 【住宅部門】Spiral Window House(大阪府) 株式会社アルファヴィル 様
- 【非住宅部門】H建設事務所(兵庫県) STYLE DESIGN 様
株式会社近藤建設 様

●入賞

- 株式会社ユニタス花巻営業所(岩手県) 株式会社木村設計A-T 様
- さがみ典礼北上大通り長安殿、興運堂北上大通り店(岩手県) 大末建設株式会社一級建築士事務所 様
- TAKINOGAWA FLAT(東京都) 吉岡環境開発株式会社 様
河部 吉孝 様
- たけうち耳鼻咽喉科(愛知県) 空間工房一級建築士事務所 様
- M・Y邸(大阪府) コーディネート・施工・ランドコーポレーション株式会社 様
設計:ナゲナデザイン 様
- いちかわ内視鏡内科クリニック(愛媛県) ドイアンドパートナーズ一級建築士事務所 様
- S様邸(福岡県) 大和興業株式会社 様
- K HOUSE(福岡県) 松尾 強一級建築士事務所 様
株式会社第一双葉 様
- S様邸(熊本県) 株式会社アネシス 様
- ケアホーム レインボー(熊本県) 株式会社前原設計事務所 様

●リフォーム賞

- O様邸(茨城県) サンワ設計株式会社 様
- K様邸(宮崎県) 株式会社岩切建設 様



審査の様子

建材トップランナー制度がスタート まず断熱材、順次ガラスやサッシにも拡大

省エネ法の改正で 建材もトップランナーの対象に

経済産業省が「建材トップランナー制度」の詳細を公表した。
2013年5月に成立した改正省エネ法の目玉の一つがこの制度の創設である。

トップランナー制度とは、商品分野ごとにトップランナー基準を策定し、目標年度までにその基準のクリアを事業者に求めるものである。これまで同制度の対象は家電機器や住宅設備機器などエネルギー消費機器に限られていたが、省エネ法の改正により住宅などの省エネ性能に大きく影響する建材などもその対象となった。

新たに対象として掲げられたのは、断熱材、ガラス、サッシなどで、建材をトップランナー制度に加えることで、住宅などの低炭素化をいっそう促進していくことが狙いである。

断熱材はガラス、ロック、 押出泡ポリスチレンが対象に

制度の詳細案では、建材トップランナー制度の運用に関する原則を提示したほか、対象となる材料選定の方針も明らかにした。

材料選定については、「特定熱損失防止建築材料」を対象とする方針。

具体的には、「建築物の外壁・窓等を通しての熱の損失の防止の用に供される建築材料」であり、経済産業省では断熱材と窓に使用されるガラス及びサッシを位置付け、制度の設計を進めていくこととしている。

まずは断熱材に関する制度設計を先行させる。

その対象選定に当たっては――

- ① 特殊な用途に使用されているもの
 - ② 技術的な測定方法、評価方法が確立していないもの
 - ③ 市場での使用割合が極度に小さいもの
- という要件を満たすものは原則除外し、制度スタート時はガラスウール断熱材、ロックウール断熱材、押出泡ポリスチレンフォーム保温材を対象にする方針だ。

断熱材全体のなかで12%のシェアを占める硬質ウレタンフォームは対象から除外された。これは現場発泡の断熱材であるため、施工方法などによっては性能バラつきが出てしまうこともあり、材料としてトップランナー基準を策定することが難しいとみられた。

同様に、ガラスウールやロックウールの吹き込み品なども対象外となりそうだ。

2020年度までに 目標値のクリアを求める

目標年度は2012年度を基準年として、10年後の2020年度を目標年次とする。事業者はこの目標年次である2020年度までに自社で販売する断熱材の性能値を目標値にまで引き上げなくてはならない。

ただし、加重平均値は目標値をクリアすればよいので、すべての製品を目標値以上にする必要はない。つまり、全体の平均で目標値をクリアすることが求められるのである。

その目標値の指標には熱伝導率λ_W/(m・K)を採用、測定方法はJISで定められたものを用いる。

具体的な目標値案は、表の通り。
ガラスウールと押出泡ポリスチレンフォーム保温

ハウジングトリビュン 平澤和弘

材については、普及品と高付加価値品に分けて基準値を設定している。

ガラスウールを例にとると、普及品の現在のトップ値は0.050W/(m・K)、高付加価値品のトップ値は0.038W/(m・K)である。ともに10年後には0.5%の効率改善が見込まれる。この0.5%を現在のトップ値に上乘せる形で2020年度にクリアすべき目標値とした。

加えて普及品については、現在の40.48%というシェアを目標年度までに31.4%にまで減らし、高付加価値品を59.52%の現在シェアを目標年度までに68.59%にまで向上させる。これによって、ガラスウール断熱材全体で0.04156W/(m・K)という目標を達成する。

ちなみに、現状のガラスウール断熱材の加重平均値は0.04407W/(m・K)で、目標年度までに6.04%の性能改善を図る必要がある。

押出法ポリスチレンフォーム保温材についても、同様に目標値を設定している。

* *

家電品などの例を出すまでもなく、トップランナー制度によって省エネ性能の底上げが図られることは間違いないだろう。

また、トップランナー基準が策定されることで性能値の目安が明らかになり、性能競争を行いやすい環境が整う。性能に基づいた差別化戦略を進めたい企業にとっては、トップランナーの対象となることはプラスに働くとみられる。

経済産業省では、早ければ2013年内にも制度をスタートしたい考えだ。

目標基準値を達成した場合の各区分における性能改善率(%)

品 種	現在の加重平均値 [W/(m・K)]	目標基準値 [W/(m・K)]	性能改善率
ガラスウール断熱材	0.04407	0.04156	6.04%
ロックウール断熱材	0.03800	0.03781	0.50%
押出法ポリスチレンフォーム保温材	0.03432	0.03232	6.19%

断熱材の区分及び目標基準値案

品 種		トップ値 [W/(m・K)]	効率改善後のトップ値 [W/(m・K)]	現在シェア	目標年度シェア	目標基準値 [W/(m・K)]
ガラスウール断熱材	普及品	0.050	0.04975(0.5%改善)	40.48%	31.41%	0.04156
	高付加価値品	0.038	0.03781(0.5%改善)	59.52%	68.59%	
ロックウール断熱材		0.038	0.03781(0.5%改善)	—	—	0.03781
押出法ポリスチレンフォーム保温材	普及品	0.040	0.03900(2.5%改善)	48.12%	41.80%	0.03232
	高付加価値品	0.028	0.02752(1.7%改善)	51.88%	58.20%	

お好みのデザインやカラーを組み合わせ
様々な外観イメージが作成できます。



【変更可能なパーツ】 ● 外壁 ● 軒天 ● 屋根 ● 破風 ● 玄関ドア ● サッシ ● 土台水切り ● 幕板・付け柱 ● 手すり ● ウッドデッキ ● ポーチタイル ● 装飾部材 など

●推奨ブラウザ
Windows Microsoft Internet Explorer8,9,10/Mozilla Firefox 8.0/Google Chrome15 Mac:Safari5.x
なお推奨するOS・ブラウザなどの環境は、予告なく変更する場合がございます。また、各OS・ブラウザの最新版につきましては対応していない場合がございます。

●JavaScriptについて
本ウェブサイトではJavaScriptを使用しています。ブラウザの設定でJavaScriptを使用できるようにしてお使いいただくことを推奨します。

●Cookie(クッキー)について
本ウェブサイトではCookie(クッキー)を利用する機能をご提供しております。ブラウザの設定でCookie(クッキー)を使用できるようにしてお使いいただくことを推奨します。

●プラグインについて
本ウェブサイトでは一部のコンテンツにPDFを使用しています。それらのコンテンツをご覧頂くにはAdobe Readerをダウンロード・インストールしていただく必要があります。こちらは下記サイトで無償配布されています。

ご利用には会員登録(無料)が必要です。(1事業所様あたり1IDとさせていただきます。)
登録後、当社よりIDとパスワードをご案内申し上げます。

どこでも簡単!住宅外観コーディネート
View System 2.0

ニチハ

住まこ

住まいのコーディネート



専用ソフト不要!インターネットがつながれば
いつでもどこでも場所を選ばず、
無料で住宅外観コーディネートが行える!



<https://www.sumaco.jp>

ニチハ株式会社 ホームページは <http://www.nichiha.co.jp>

オフセットサイディング

2013年度 グッドデザイン賞

第10回エコプロダクツ部門 エコプロダクツ大賞

推進協議会会長賞(優秀賞)を受賞



ニチハはこのたび、窯業系外装材「オフセットサイディング」で2013年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)、及び、第10回エコプロダクツ大賞(主催:エコプロダクツ大賞推進協議会、後援:財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)において、エコプロダクツ部門エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)を受賞いたしました。グッドデザイン賞においては、昨年の「モエンエクセラード16キャストウッド」

の受賞に続き、2年連続の受賞です。

『オフセットサイディング』は、国産材の製材後に排出される端材や背板を木材チップにして原材料に有効利用しています。このオフセットサイディングの生産、普及活動が地球温暖化防止に貢献するだけでなく、健全な森林育成による地域の活性化など、多面的な効果が期待できる仕組みとして高く評価されました。

今回の受賞を契機に、オフセットサイディングのさらなる拡販をめざすとともに、「MADE in JAPAN」の木材利用を積極的に推進し、「日本の美しい森を守る」ことに一層務めてまいります。



オフセットサイディングは、モエンエクセラード・モエンサイディングWが対象です。

※1 10月30日(水)から6日間、受賞展「グッドデザインエキシビジョン2013」が開催された東京ミッドタウン会場。
※2 環境負荷の低減に配慮したすぐれた製品・サービスの表彰を通じて、供給者の取り組みを支援し、需要者に広く伝えることで、エコプロダクツの普及を図ることを目的に、2004年創設された賞。

オフセットサイディングとは?

国産材の製材後の残材は、背板や端材を集材や製紙、有機肥料の原材料、固形燃料に使用するなど、全て有効に活用できる価値ある材料です。ニチハではそうした製材後の背板や端材などを木材チップにしてサイディングの原料に用いています。木材の有効利用に加え、木が生長過程で吸収したCO₂を外壁材の中に長期間閉じ込めることができるので、地球温暖化防止にも大きく貢献する外壁材なのです。

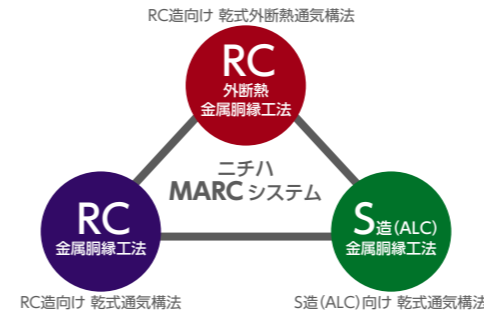


ニチハはこれからも、創業以来続けてきた木材資源の有効活用を通して、「素晴らしい人間環境づくり」を目指してまいります。

グッドデザイン賞 審査委員の評価

東日本大震災後により、多くの人々が環境問題やエネルギー問題について関心を寄せている。住まいの新築やリフォームなどの機会に、情報収集し環境への負荷や省エネルギーに貢献できるものを探し選ぶ人は増えている。このサイディング建材は原材料に国産木材製材後に排出されるチップのみを有効活用するとともに、廃棄されるまでの期間、炭素貯蔵し環境負荷軽減に貢献する製品。従来は木とセメントの混合は性能発揮が困難とされていたが、独自の製法により実現させている。

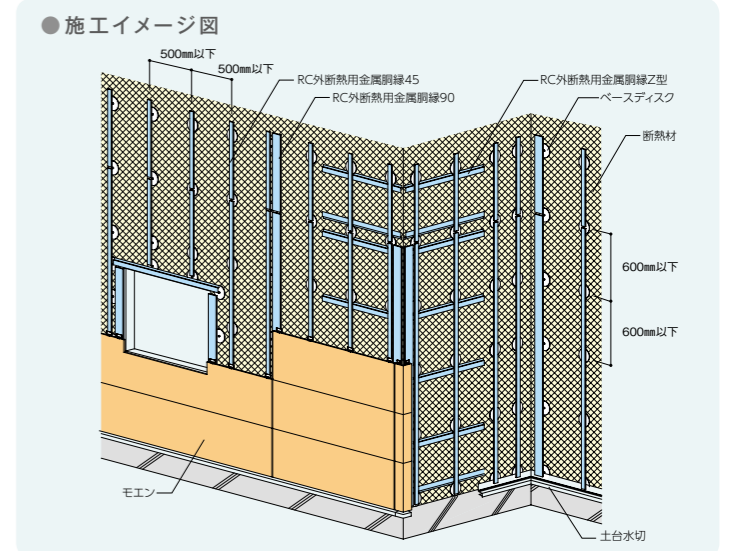
ニチハMARCシステムに新材材・新工法が登場



「ニチハMARCシステム」とは、ニチハが独自に開発した金属胴縁を使用する「RC外断熱・金属胴縁工法」、「RC金属胴縁工法」、「S造(ALC)金属胴縁工法」の3つの工法の総称です。このたび、「RC造タイル外壁の改修補助部材」、「RC・S造への金属サイディング施工用の金属胴縁15」の新材材、新工法が加わりました。「ニチハMARCシステム」と機能性・デザイン性にすぐれたモエンサイディングで、RC造、S造建築物の外観ドレスアップをご提案します。

外断熱工法の特長

- 地球環境に優しい**
取り壊し時に発生する産廃や冷暖房効果向上により、CO₂などの温室効果ガスの抑制・削減が期待できます。
- 室内の温熱環境が向上**
少ないエネルギーで高い冷暖房効果が得られ、快適な室内環境を実現します。
- 建物の耐久性の向上・長寿命化**
風雨や日射、紫外線、CO₂などから建物を守り、躯体の劣化を抑制します。
- 結露の発生を抑制**
断熱層が躯体の外側にあるため、壁の温度が室温に近くなり、結露の発生を抑制します。アレルギー症状の原因とされるカビ・ダニの発生抑制にもつながります。



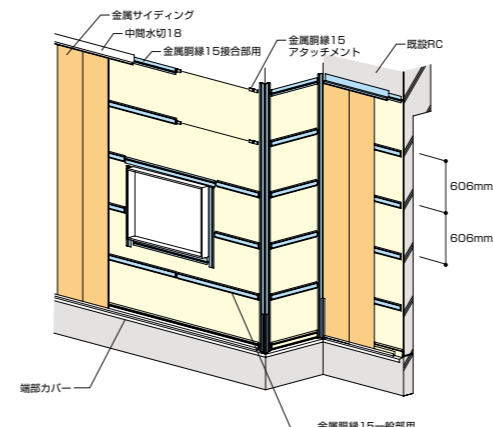
新材材 新工法

- 簡単にRC造タイル外壁に窯業系サイディングを重ねて張ることができる部材、工法です。
- ※タイルの剥落を防止する部材ではなく、サイディング施工後にタイルが落下しても、通気層内にタイルを分散させてリスク低減を図る部材、工法です。



使用部位	RC造タイル仕上げ部	
名称	タイル外壁改修補助部材 NEW	
形状		
品番	KN80	
標準価格	7,875円/本 (税抜7,500円/本)	
梱包	10本/梱	
材質	合金めっき鋼板	
備考	板厚1.2mm	

- RC造に金属サイディングを重ねて張ることができる部材(金属胴縁15)、工法です。



使用部位	一般部	上下接合部・出隅部・土台部	アンカー固定部
名称	金属胴縁15一般部 NEW	金属胴縁15接合部用 NEW	金属胴縁15アタッチメント NEW
形状			
品番	KN2045	KN2060	KN70
標準価格	2,310円/本 (税抜2,200円/本)	2,310円/本 (税抜2,200円/本)	23,100円/箱 (税抜22,000円/箱)
梱包	6本/梱	6本/梱	50個/箱
材質	合金めっき鋼板		
備考	板厚1.2mm	板厚1.2mm	板厚1.6mm

「ニッポンの森を守る。」 その取り組みが、高く評価されました。

ニチハのオフセットサイディングが、2013年度グッドデザイン賞を受賞しました。

国産木材チップを活用したオフセットサイディングの生産・普及による、

低炭素社会実現への取り組みが評価されたもので、

ニチハとしては、2012年度キャスティングウッドの受賞に続き、2年連続の受賞です。



GOOD DESIGN AWARD
2013年度受賞



オフセットサイディング

「オフセットサイディング」は、ニチハ株式会社の登録商標(登録商標第5408320号)です。

編集後記

コンテストにご応募くださった作品を「ここで暮らしたら」「ここで働いたら」と想像しながら拝見しています。どの建物もそれぞれに魅力的で羨ましく、設計をする方、営業の方、建てる方など、皆さんの英知を集結させて「居場所」をつくる、そんな仕事のすばらしさをあらためて感じます。お届けするニチハにも、考え出す者、つくり出す者、お届けする者、ご提案する者、パースを作る者、販売する者などがおります。上天草市庁舎を設計くださった加藤部長がおっしゃった「皆の思いが一つになってできあがる」は多かれ少なかれどこにも共通すること。思いや努力を一つに紡ぎ上げてきた大切な大切な建物で過ごす人たちの幸せを心から願います。皆様来年も良いお年をお迎えください。(S)

磨いて発色させたステンレスの鍍張り、ダブルスキンで窓の位置は中からしかわからない外観、植栽に溢れ、無垢の煉瓦が敷かれたアプローチ、数種類の無垢の板が並んだ内壁、漆喰仕上げの天井。こちらは無有建築工房様の事務所。居心地の良い空間と静穏な佇まいの力強さに圧倒されました。「材料を開発する事務所」とおっしゃる竹原義二氏。本物を知り尽くしているからこそ、サイディングの魅力や可能性を引き出していただけではないか、と肌で実感する貴重な取材となりました。(T)

ニチハ株式会社

名古屋市中区錦二丁目18番19号 三井住友銀行名古屋ビル
TEL (052) 220-5111
編集/ナビュー編集部
ホームページアドレス <http://www.nichiha.co.jp/>